

報告者:望月(就労支援室)

令和4年度 第1回台東区障害者地域自立支援協議会(就労部会)報告

1 開催日

1/19、2/16、3/16、4/20、5/18 (リモート開催)

2 検討した内容

(1)令和4年度検討テーマ

・昨年度からの持ち越しについての高齢化については、引き続き検討を継続していく。
アンケートの情報なども踏まえ、高齢化が進んだ就労者が継続して働く為に必要な事を考えて行きたい。働き続けたいが、色々な事情により継続が難しくなってきた場合、離職する選択肢ではなく、働き方の多様性について検討し、選択肢を増やせるような提案が出来ればと思っている。

【たとえば】

一般就労とサービスの併用は可能か?(例 週2回企業・週3回就労継続B型 等)

・その他の検討テーマについても話し合いを行った。色々な意見の中、高齢化以外のテーマとして、一般就労を受け入れている企業の見学会の実施と実際に障害者雇用を行っている企業に具体的な仕事内容や特徴など聞き取り、区内事業所に発信していく。

(2)ガイドブック更新

令和4年3月までに各事業所に原稿を作成してもらい、無事に完成した。現在、区のホームページに掲載されている。

(3)イベントの配信について

令和3年度よりイベントについて検討してきた。様々な案が出たが、試行で台東区障害者就労支援室の紹介を配信する事とした。対象は、区内の就労継続支援B型事業所と移行支援事業所とした。

配信日 令和4年3月25日

配信時間 14:00~15:00

配信内容 就労支援室の事業内容・定着支援の内容・企業就労されている方のインタビュー・質疑応答

《感想》

- ・就労支援室の仕事内容がわかった。
- ・実際に働いている人の様子がわかってよかった。

- ・色々な仕事内容が聞きたかった。 などの意見をもらった。

(4)勉強会

令和3年度からの勉強会を引き続き、令和4年度も行っていく。

開催月	内 容	担 当
5月	事例検討(就労継続支援B型事業所)	たいとう第四福祉作業所
6月	就労支援室の取り組みについて	就労支援室
7月	就労継続支援B型事業所の現状と課題	HOPE
8月	事例検討(就労移行支援事業所)	ありがとう
9月	障害者雇用について	ハローワーク
10月	就労移行支援事業所の現状と課題	ありがとう
11月	事例検討	就労支援室
12月	障害者雇用の進め方と今後について	メトロフルール
1月	事例検討(就労継続支援B型事業所)	耕房輝
2月	事例検討(就労継続支援B型事業所)	HOPE

(5)事例検討 作業所の抱えている悩み(たいとう第四福祉作業所 風間氏)

現状の1つ目の課題は新規利用者の確保であり、現在1日の平均利用者が16名。しかし、他区から通っている利用者は、自宅から近い作業所へ移る予定である。利用者の流出が今後見込まれるが、どのように対策したらよいか。

2つ目の課題は、工賃の維持についてである。現在利用者の減少や高齢化により、工賃の維持が非常に難しい。清掃の場合、1人でも欠席が出ると、職員がいかねばならない。また、清掃作業は体力が必要であり、高齢の利用者には厳しい。最近の傾向として就労継続支援B型を希望する利用者は、今までの利用者よりも障害程度が重い方が多く、生活介護寄りになっていて、いままでの作業の量と質を維持したまま受注出来ず、工賃が維持できない可能性が大きい。新規利用者の確保方法、工賃の維持方法について聞きたい。

【部会員からの意見】

- ・通信の発行、保健所や近隣の精神クリニックへパンフレットの配布を行った。また新規利用者は保健所からの紹介が多いため、保健所への挨拶も行っている。
- ・薬局やクリニック、学校等にパンフレットを配布している。
- ・工賃については、納期が短いが高単価の作業を受注し、対策している。
- ・お菓子作りがあると、女性の利用者確保につながる場合がある。

【風間氏より】

たくさんの貴重な意見ありがとうございます。営業を攻めの姿勢で行う、自主製品に力を入れる、という点を意識して課題解決に挑みたい。

3 今後のスケジュール

- ・検討テーマについて進めて行く。
- ・講演会等を計画していく。